



2022.8.26 (金) ~ 8.27 (土)

常陸太田マルシェ in IBARAKI sense

8月26日(金)・27日(土)の2日間、茨城県アンテナショップ「IBARAKI sense」において「常陸太田マルシェ in IBARAKI sense」を開催します。

常陸太田市はぶどうの生産量が茨城県内で1位。販売シーズンを迎えた甘くておいしいぶどうを販売いたします！

また、贈答用としても人気が高い当市のぶどうについて、お客様のご希望先に直接配送できる「**産地直送**」のお申し込みを店頭にて受付いたします。

今回お届けするぶどうは、常陸太田産ぶどうの代表格、「J」A常陸 常陸太田ぶどう部会」による**上品な甘さと香りが魅力の『巨峰』**と、**高い糖度とさわやかな酸味が特徴のオリジナルブランド『常陸青龍(ひたちせいりゅう)』**です。

また、あわせて「常陸太田市認証特産品」の中からお土産にもぴったりの商品を限定販売いたします。

イベント概要

〈日時〉

令和4年8月26日(金) ~ 27日(土) 10:00~15:00

〈場所〉

IBARAKI sense
(東京都中央区銀座1丁目2-1紺屋ビル1F)

〈内容〉

- ・常陸太田産ぶどう(巨峰&常陸青龍)販売
- ・ぶどうなど市産の農産物を使った加工品販売(お菓子、ヨーグルト等)
- ・産地直送のお申し込み受付(巨峰&常陸青龍※20箱限定)
- ・市職員による観光PR



巨峰

昭和36年、3本の苗木に立派なぶどうが結実したことから始まったといわれる常陸太田市の『巨峰』栽培。現在では約50軒のぶどう生産者が年間約270トンもの巨峰を生産する、県内一のぶどう生産地となりました。種なし巨峰も生産されていますが、甘みとコクの強い「種あり」がぶどう農家のおすすめです。

常陸青龍

昭和53年、常陸太田市内のぶどう農家が巨峰の実生から育成した黄緑色のぶどうです。平成10~11年に部会青年部において果実・生育特性調査を行い、平成16年に常陸太田ぶどう部会により、『常陸青龍』として品種登録し、常陸太田市オリジナルブランド『常陸青龍』が誕生しました。

巨峰&常陸青龍は、
下記の期間限定で、販売いたします。
常陸太田自慢の味をぜひ♪

産直受付期間：8/25(木) ~ 9/4(日)
※20箱限定。なくなり次第受付終了
店頭販売期間：8/26(金) ~ 9/11(日)

常陸太田市では生産量の6割以上を占める『巨峰』や、オリジナルブランド『常陸青龍(ひたちせいりゅう)』のほか、種がなく皮ごと食べられる「シャインマスカット」など、たくさんぶどうを楽しむことができます。ぶどう狩りができる農園もあり、ご家族での行楽にも大人気です。広い畑に大きなぶどうがたくさんぶら下がっている風景を見ると大人も子供もワクワクします！

市内の観光果樹園では新型コロナウイルス感染対策に取り組み、「安全安心の産地」を心掛けご来訪をお待ちしております。

【問い合わせ先】※産地に関すること

常陸太田市役所農政部販売流通対策課

担当：柿崎

TEL：0294-72-3111(代) FAX：0294-72-0288

MAIL: sss@city.hitachiota.lg.jp

※IBARAKI senseでのPR販売に関すること

茨城県営業戦略部東京渉外局PR・誘致チーム

担当：松村、須賀田

TEL：03-5212-9191 FAX：03-5212-9089

MAIL: m.sukada@pref.ibaraki.lg.jp